



2年目の漁村留学は「島に元気を届け隊」 相島小・相島分校

相島小学校・新宮中学校相島分校では、相島の未来を考える協議を「相島区活性化協議会」や「相島小中学校運営協議会」で行っています。

「通学型漁村留学制度」がスタートして2年目。漁村留学の充実をめざす今年のテーマは、「～島に元気を届ける～」です。島のみなさんとのふれあいで、島に元気を届けようと小中学校一丸となっていてがんばっています。

相島に元気を届け隊～出動！～

相島小学校で行っている「全戸配布」

島全戸（180軒）に小中学校や地域の様子を発信しています。今年は配布物を届けるだけでなく、届けに行った家庭（希望者）と遊び、お話、肩たたきなどで交流し、笑顔になってもらおうとはりきっています。

島児童7人、漁村留学生13人の計20人が4つのグループに分かれて各家庭を回ります。「また来てね」「今日は1年分笑ったよ」など嬉しい声が届いています。大好きな相島がもっと笑い声でいっぱいになるようがんばります。



分校は相島BFC*活動で島に元気(安全)を！

(※Boys and girls Fire Clubの略)



相島分校では、BFC活動を行っています。相島を火災から守るため、週4日の夜回り活動を行っています。この活動は昭和23年から続けられており、「島の安全は自分たちで守る」という先輩方の想いを70年以上継承しています。



万が一火災が発生したときは、軽可搬ポンプを操作して消火活動ができるよう日々訓練しています。島の一軒一軒に「火の用心」と声をかけ、島に元気(安全)を届けています。今年は漁村留学の生徒たちも夜回りを行い、島のみなさんとの心の絆を築いています。

【相島BFCの歴史】

昭和22年に男性陣が漁で島を離れているときに火災が起こり、島内の大部分が焼失した歴史があります。昭和23年に相島分校の生徒で発足し、自主防災活動を展開しています。



「学校」「地域」が一丸となり元気に！

地域・家庭・学校が協力、連携する活動のなかで地域との交流が深まる最大の行事は「相島区秋季大運動会」です。今年は漁村留学生の家族に加え、新宮中学校・新宮東中学校の生徒のみなさんも参加・交流し、活気にあふれた運動会になりました。



初めて英語でのガイドに挑戦！

10月26日に「新宮劇場：相島ウォーキング」を小中合同で行いました。海外からの来島者も多く、来島したすべての人に相島を満喫してほしいというおもてなしの心から、初めて英語での島ガイドに挑戦しました。日本語では上手にできるガイドも、英語となると少し緊張していましたが、徐々に自信を持って話すことができるようになり、会話も楽しみました。

この「相島のおもてなしの心」が、未来の相島の元気につながっていきます。



運動会アンケートに来賓のみなさんから嬉しい感想をいただきました



島の子一人ひとりがとても元気でよかったです。ハリのある大きな声、キビキビとした動き、留学生にとってもよい影響を与えています。留学生も表情が明るくて相乗効果がとてもよくあらわれていました。子どもたちの姿が最高でした。



開閉会式の子どもの姿に感動しました。漁村留学制度の成果につながる「成長の場」となっていました。



これからも地域を、家庭を元気にする相島小・中学校をめざして連携強化を図っていきます。